

# 病 院 開 設 事 前 協 議 書

((仮称) 神戸アイセンター病院)

## 病院開設事前協議書

### 1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏名		医籍番号	
住所	TEL		
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区分	開設・管理・勤務	
	施設の種類	病院・診療所	病床数
	名称		一般精神床 結核
	所在地		
	診療科目		

(開設者が法人である場合)

法人の種類	公益財団法人 (平成 24 年 4 月 1 日より財団法人より移行)	設立年月日	平成 12 年 3 月 17 日
名称	公益財団法人先端医療振興財団		
主たる事務所の所在地	神戸市中央区港島南町 2 丁目 2 番		
代表者	氏名	本庶 佑	住所
法人の目的、事業	<p>(目的)</p> <p>21 世紀の成長産業として期待されている健康・福祉・医療関連産業の振興を図ることによって、新産業の創出・既存産業の高度化・雇用の確保による神戸経済の活性化、健康支援と高齢化社会への対応による市民福祉の向上、さらにはアジア諸国の医療技術の向上などの国際社会への貢献を目的とする神戸医療産業都市を推進するため、中核的支援機関として、産官学の連携による先端医療の臨床研究や技術開発を行い、次世代の医療システムの構築を通じて、医療サービス水準の向上と医療関連産業の集積形成に寄与することを目的とする。</p> <p>(事業)</p> <p>(1) 神戸医療産業都市の推進に係る企画立案、人材育成、学術集会、情報発信及び国際交流等</p> <p>(2) 再生・細胞治療の研究・開発・臨床応用</p> <p>(3) 医療機器の研究・開発・臨床応用</p> <p>(4) 医薬品の研究・開発・臨床応用</p>		

		(5) 先制医療の実現のための研究・開発・臨床応用 (6) 研究・開発・臨床応用に対する総合的支援 (7) 新事業創出促進及び既存産業の高度化のための各種支援 (8) 市民への健康支援と先端医療の提供 (9) 神戸医療産業都市の推進に係る施設の管理・運営 他			
法人が現に、 病院若しくは 診療所を開設 している場合 には、当該医 療機関の概要	施設の種類	名 称	所 在 地	病床数	備 考
	病院	先端医療センタ ー病院	神戸市中央区港島南町2丁目 2番	60	
自己資本比率 (医療法人の場合)		-			

## 2. 開設しようとする病院の概要

### (1) 基本的事項

名 称	(仮称) 神戸アイセンター病院				
開 設 の 場 所	神戸市中央区港島南町2丁目				
開 設 予 定 年 月	平成29年中				
診 療 科 目	眼科				
病 床 数	30 床 (一般30床)				
特 色	眼疾患にかかる標準治療から高度医療まで地域医療を高い水準で担う基幹病院を目指す。(仮称) 神戸アイセンタービルで予定される視覚障害にかかるリハビリ機関等と緊密に連携する。				
開設趣旨及び 病床数設定の考え方  ・ 提供する医療の内容 ・ 当該地域の医療事情	基準看護又は新看護の内容(予定)		看護体制：10対1入院基本料 夜勤体制：2名体制・2交替制 夜勤時間数72時間以内の配置		
	療養病床設置の予定	有(—床) (無)	老人特定許可の予定	有(—床) (無)	
	規則第30条の32第1項の規定による特例		有(—号—床) (無)		



(2) 施設及び構造施設に関する事項

法定施設	診察室	10ヶ所 136.57 m <sup>2</sup>	(科目 眼科)		
	処置室	1ヶ所 24.86 m <sup>2</sup>	(科目 眼科)		
	手術室	3ヶ所 137.34 m <sup>2</sup>	臨床検査施設	1ヶ所 24.86 m <sup>2</sup>	(処置室と共用)
	エックス線装置	なし (先端医療センター病院で実施)			
	調剤所	1ヶ所 82.60 m <sup>2</sup>	消毒施設	ヶ所	m <sup>2</sup>
	給食施設	1ヶ所 114.01 m <sup>2</sup>	洗濯施設	ヶ所	m <sup>2</sup>
	給水施設	ヶ所 m <sup>2</sup>	暖房施設	ヶ所	m <sup>2</sup>
	汚物処理施設	2ヶ所 8.53 m <sup>2</sup>			
	分べん室	ヶ所 m <sup>2</sup>	新生児の入浴施設	ヶ所	m <sup>2</sup>
	機能訓練室	ヶ所 m <sup>2</sup>	談話室	1ヶ所 29.83 m <sup>2</sup>	(食堂と共用)
	食堂	1ヶ所 29.83 m <sup>2</sup>	浴室	ヶ所	m <sup>2</sup>
病室	4床室	6室 210.09 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>	
	1床室	6室 93.89 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>	
	床室	室 m <sup>2</sup>	床室	室 m <sup>2</sup>	
その他の施設					
階段、エレベーター	室内直通階段	1ヶ所、幅 1.21m、蹴上げ 19.79 cm、踏面 25 cm			
	避難階段	3ヶ所	エレベーター	3ヶ所	
放射線関係	診療用エックス線装置	有 ( 直接撮影装置、間接撮影装置 透視装置、CTスキャナー、その他 ( ) )		無	
	診療用高エネルギー放射線発生装置	有 ( 直線加速装置、ベータトロン、 (リニアック、ライナック)、その他 ( ) )		無	
	診療用放射線照射装置	有 ( <sup>60</sup> Co 照射装置、 <sup>123</sup> I 骨成分分析装置、 その他 ( ) )		無	
	診療用放射線照射器具	有 ( 管、針、球、ビーズ、板、アプリケーター、 その他 ( ) )、使用核種 ( )		無	
	診療用放射線同位元素	有 ( (使用核種) )		無	
備	臨床検査施設	心電計 (ポータブル)、 遠心機	消毒施設		
	消防用施設	スプリンクラー	防火施設	自家発電機	
	その他の施設				

(3) 人員に関する事項

管 理 者	氏 名	栗本 康夫	医 籍 番 号	
	住 所			
	主たる経歴	神戸市立医療センター中央市民病院第2診療部 眼科部長 (公財)先端医療振興財団 先端医療センター病院 眼科統括部長		

人 員 配 置 計 画							
職 名	必 要 数	予 定 数	確 保 済 人 員	職 名	必 要 数	予 定 数	確 保 済 人 員
医 師	4.1	10※	2	薬 剤 師	2	3	
看 護 師	17	27		栄 養 士		1	
准 看 護 師				放 射 線 技 師		-	
看 護 補 助 者		2		調 理 師			
臨床(衛生)検査技師		-		事 務 員		14	
理学療法士		-		そ の 他		14	
作業療法士		-		計		71	2

※非常勤勤務医師数については常勤勤務医師数として換算。

(4) 人員算定根拠 (計算式)

医療法に基づく医師の配置標準

$$\{(入院患者数30人+外来患者数200人/5) - 52\} / 16 + 3 = 4.1人$$

医療法に基づく看護師の配置標準

$$入院患者数30人/3 + 外来患者数200人/30 = 17人$$

医療法に基づく薬剤師の配置標準

$$入院患者数30人/70 + 外来患者に係る取扱処方箋数70件/75 = 2名$$

(5) 関係者との協議に関する事項

関 係 者	協 議 状 況
地 元 医 師 会	神戸市中央区医師会に平成 28 年 7 月 5 日に説明を行った。 平成 28 年 7 月 11 日付文書により承認済み。
市保健医療審議会 医療専門分科会	平成 28 年 7 月 13 日に神戸市保健医療審議会医療専門分科会に出 席・審議の上承認を得る予定。
そ の 他	

注) 地元医師会、医療専門分科会については、予防衛生課等が意見を聞き意見書等を添付すること。

(仮称) 神戸アイセンター病院開設に関する意見書

公益財団法人 先端医療振興財団

理事長 本庶 佑 様

このたび「神戸アイセンター病院」を神戸市立医療センター中央市民病院と公益財団法人先端医療センター病院の間に開設する事に関して、中央区医師会の理事会において協議致しました。

国際標準である眼科専門の病院を開設する事は、グローバル化と次世代の医療を開発する上では時機にかなった開設と考えます。

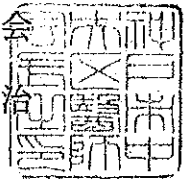
また公益財団法人の事業であり、安定した経営運営が期待されます。

ただし、市民病院の常勤の眼科医が激減することより、地域医療機関との密接な連携をはかり、地域医療に貢献していただくようお願いします。

平成28年7月11日

神戸市中央区医師会

会長 林 省治





新規開設又は増床を行おうとする病院の医療システム構築に関する申立書

病院名	(仮称)神戸アイセンター病院	所在地	神戸市中央区港島南町2丁目		
電話番号	078-306-0806	二次医療圏域名	神戸	保健所名	神戸市保健所

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

○対象患者：

白内障、網膜硝子体サージカル、黄斑、網膜循環、糖尿病網膜症、網膜変性、緑内障、ぶどう膜、角膜/前眼部、神経眼科、斜視/弱視 等

○診療科目

眼科

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

中央市民病院と先端医療センター病院の眼科機能を集約・拡充し、眼疾患に関し、市民病院群の一員として神戸市域において標準医療から高度眼科医療まで地域医療を高い水準で担う基幹病院を目指す。医療用レーザー機器など最新の眼疾患治療設備を導入するとともに、医師・看護師をはじめ視能訓練士等医療スタッフについても適切に配置する。

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸	市内全区

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

神戸アイセンター病院では重篤な眼疾患にかかる専門的な診療機能を有し、また、眼疾患リハビリ機関（(仮称)神戸アイセンタービルに開設予定）との連携による社会生活への復帰支援を行うことで、眼疾患について当該地域ではほぼ何等かの答えを得ることができるワンストップセンターとしての役割を担う。

(3) 既存の医療機関について、(特に、提供しようとする医療が同じものについて)

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
神戸市立医療センター中央市民病院	700床	眼科 (他 31 診療科)	① 眼科一般外来診療(専門外来含)入院診療、手術は原則アイセンター病院で対応 ② 眼科救急疾患は原則中央市民病院の救急外来で対応 ③ 人員体制については、兼務等により協力体制を構築	
先端医療センター病院	60床	眼科 (他 9 診療科)	① 検体検査、放射線画像診断は、先端医療センター病院で実施。 ② 購買及び物品管理は先端医療センター病院との一括管理。	

② 診療所の状況について

[ — ]

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

[ 1日当たりの患者数として、入院 30 人程度(休日除)、外来 200 人程度を予定。  
市域の将来患者数の推計として、眼科患者数は入院・外来共に増加が見込まれる。 ]

3. 医療のシステム化

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

[ 眼科領域の最新の医療技術等を取り入れた新しい治療を市民が享受できる高度な眼科病院として、眼に関する専門ビル内で開設し、誰もが快適に訪れ、利用することができる市内の眼科中核病院を目指す。 ]

(2) 医療機関との連携

医療機関名	内 容	具 体 例	医療機関名	内 容	具 体 例
神戸市内の大学病院・公的病院及び民間病院	①～⑦	各病院の特性に応じた患者の紹介及び逆紹介等	神戸市内の各診療所	①～⑦	

〔注〕内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
- ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥心電図の解折等診療情報の援助
- ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
保健所等	各種保健活動への講師派遣等医療情報提供支援	

〈注〉医療機関以外としては、社会福祉事務所、老人保健施設、社会福祉施設  
(老人関係、精神関係、身障関係)等が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加 (住民の健康管理等)

〔 地域医療機関との連携のため、アイセンター病院に地域医療連携担当者を配置予定。 〕

4. その他の特記事項

〔 — 〕

## 開設に要する資金

資金計画

(単位:千円)

項 目	所 要 額	自己資金	借 入 金			備 考
			借入金①	借入金②	リース	
土地購入費	0	0	0			
設計管理費	0	0	0			
建物建設費	0	0	0			
医療機器購入費	275,145	0	0	33,156	241,989	
什器備品購入費	50,000	0	0	50,000		
保証金	0	0	0			
諸税	0	0	0			
開設時運転資金	232,584	0	232,584			
その他費用	医療情報システム整備費	229,315	0	0	229,315	
	開院準備費用	3,903	0	3,903		
	式典関連費用	1,000	0	1,000		
計	791,947	0	237,487	83,156	471,304	

## 返済計画

金融機関名	返済条件				初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据 置 期 間	償還回数 回×年	利 率 %		年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月	年 月 ~ 年 月
借入金①、②分		1回×5年	0.55%	元本	63,426	63,775	64,127	64,480	64,835
				利息	1,676	1,327	976	623	268
リース分		1回×5年	0.55%	元本	93,228	93,742	94,258	94,777	95,299
				利息	2,464	1,951	1,434	915	393
				元本					
				利息					
				元本					
				利息					
合 計				元本	156,654	157,517	158,385	159,257	160,134
				利息	4,141	3,278	2,410	1,538	661
年度末借入金残額					635,293	477,776	319,391	160,134	0

## 損益的収支予算書 (総括)

(単位：千円)

	初年度 (年月～年月)	次年度 (年月～年月)	3年度 (年月～年月)	4年度 (年月～年月)	5年度 (年月～年月)
I 医業収益	1,196,477	1,382,270	1,517,570	1,625,105	1,625,105
II 医業費用	1,395,505	1,518,725	1,578,602	1,627,110	1,631,949
医業利益(医業損失)	-199,028	-136,455	-61,032	-2,005	-6,844
III 医業外収益	108,312	108,312	108,312	108,312	108,312
IV 医業外費用	4,141	3,278	2,410	1,538	661
經常利益(經常損失)	-94,857	-31,420	44,870	104,769	100,807
V 特別利益	0	0	0	0	0
VI 特別損失	0	0	0	0	0
税引前当期利益(税引前当期損失)	-94,857	-31,420	44,870	104,769	100,807
当期純利益(当期純損失)	-94,857	-31,420	44,870	104,769	100,807
前期繰越利益(前期繰越損失)	0	-94,857	-126,277	-81,407	23,362
当期末処分利益(当期末処理損失)	-94,857	-126,277	-81,407	23,362	124,169

## 資本的収支予算書

(単位：千円)

		初年度 (年月～年月)	次年度 (年月～年月)	3年度 (年月～年月)	4年度 (年月～年月)	5年度 (年月～年月)
資本的支出	建設改良費	0	0	0	0	0
	借入金(元本)償還	156,654	157,517	158,385	159,257	160,134
	固定資産購入費その他	83,156				
	計	239,810	157,517	158,385	159,257	160,134
財源内訳	内部資金	0	0	0	0	0
	借入金	320,643	0	0	0	0
	補助金	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	計	320,643	0	0	0	0
財源不足額		80,833	-157,517	-158,385	-159,257	-160,134

